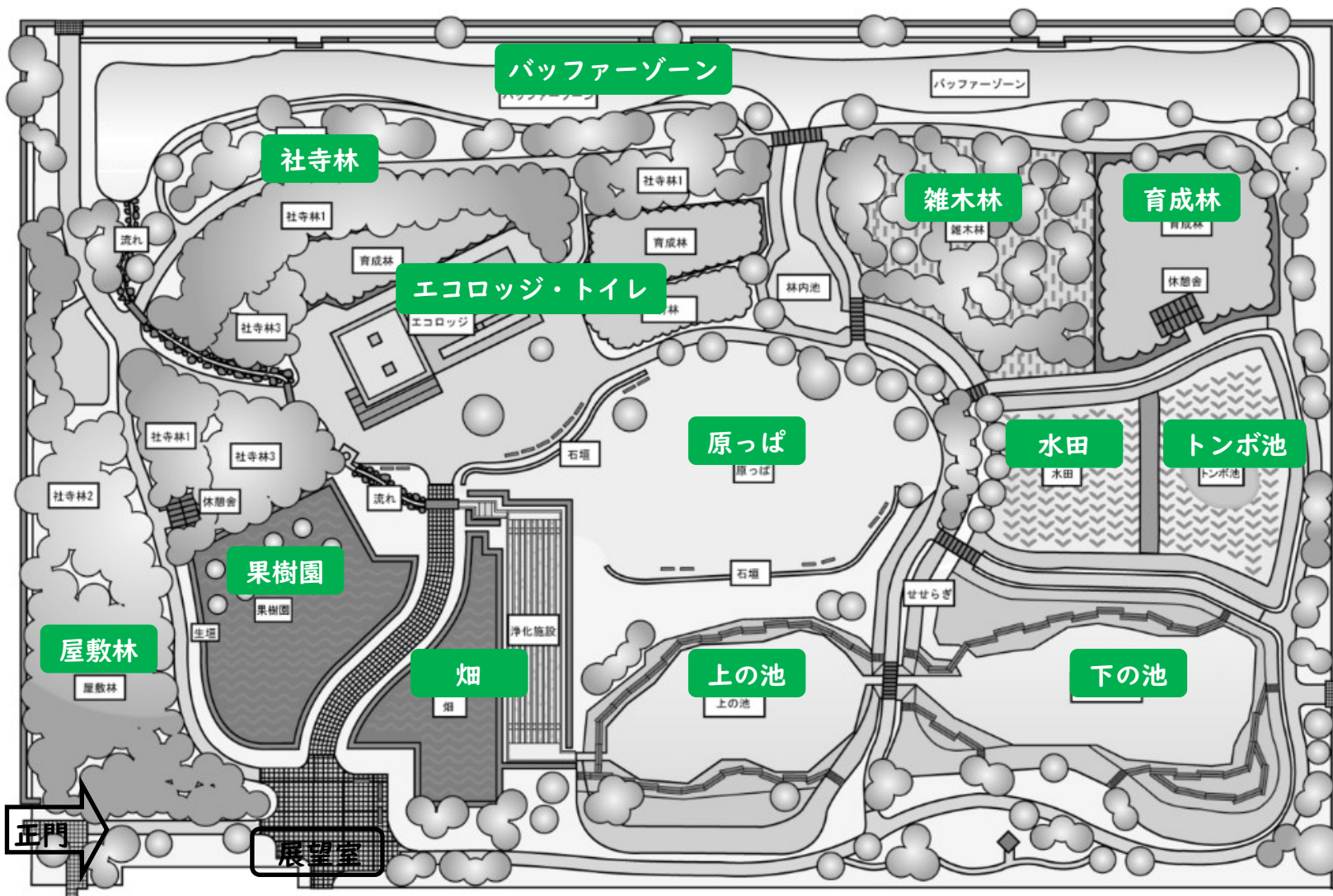


生態園マップ～2021新緑編～

きせつ
 <季節のできごと>

しろいろ ももいろ あかむらさきいろ きいろ
 白色(シロツメクサ、カラタチなど)や桃色・赤紫色(カラスノエンドウ、ホトケノグサなど)、黄色(セイヨウタン
 あおむらさきいろ いろど はる くさばな じゅもく はな
 ポポ、カタバミなど)、青紫色(オオイヌノフグリ、フジなど)カラフルな彩りの春の草花や、樹木の花がたくさ
 さ
 ん咲いています。



ジャコウアゲハ



はる なつ
 ジャコウアゲハは、春から夏
 きせつ えんない ひく
 の季節に園内をゆるやかに低
 と ようちゆう ゆうどく
 く飛んでいます。幼虫は有毒
 せいぶん
 成分のあるウマノズクサの
 は た たいない どく ちくせき
 葉を食べ、体内に毒を蓄積し
 ます。毒のあるチョウとし
 どく
 て、鳥などに食べられるのを
 とり た
 防ぐのです。成虫はジャコウ
 ふせ せいちゆう
 の様な香りを出すことから、
 なまえ
 この名前がつけられたとされてい
 せいちゆう おす はいろ こうたく
 ます。成虫の雄の翅色は光沢
 くるいろ
 のあるビロードのような黒色
 めす あか かつしよく
 ですが、雌は明るい褐色
 です。



CESSチャンネル (Youtube)

生態園についても配信

新緑

かぜかおる さわ きせつ しんりよく うつく おか いきお の くさき しんめ せいめい
風薫る爽やかな季節となり、新緑の美しいシーズンを迎えました。勢いよく伸びる草木の新芽に、生命
ちからづよ かん
の力強さを感じます。

ミズキ(水木)

みずべ おお せいいく らくようこうぼく たか
水辺に多く生育する落葉高木で、高さ10
ぜんこく み
~20mになります。全国どこでも見られ
しよくぶつ きせつ しら しひよう
るので、植物の季節を調べるときの指標
しよくぶつ み とり た
植物になります。実は鳥に食べられ、
しゆし みしようか はいしゆつ ぶんぶ
種子が未消化のまま排出されて、分布を
ひろ じゆえき おお そうしゆん えだ き
広がります。樹液が多く、早春に枝を切る
みず したた お みずき
と水が滴り落ちることから、水木(ミズ
なづ
キ)と名付けられました。



フジ

せい じゆけい こうぼく ま つ うえ たつ
つる性の樹形で、高木に巻き付いて上まで達
します。
がつけじゆん がつ えださき おお ふさ
4月下旬~5月になると、枝先に大きな房が
た さ ちよう かたち はな たすう
垂れ下がり、蝶のような形の花が多数つき
うえ おお かべん はな おとず こんちゆう
ます。上の大きな花弁は、花を訪れる昆虫
めじるし した かべん むし と
の目印になっていて、下の花弁は虫が止まる
おも さ お め むし
とその重みで下がり、雄しべや雌しべが虫の
からだ ふ じゆぶん しく
体に触れて受粉する仕組みになっています。

いきものの始動

きおん あ い もの す きせつ こんちゆう かつどう はじ
気温も上がり、生き物たちには過ごしやすい季節。チョウや昆虫たちが活動を始めました。

ナナホシテントウ



たいちよう にほん ぜんど
体長8mmほどで、日本全土
ひろ ぶんぶ
に広く分布しています。テント
なかま た もの
ウムシの仲間の食べ物は、
こんちゆう さくもつ は
昆虫や作物の葉などがありま
た
すが、アブラムシを食べるナナ
えきちゆう やく た
ホシテントウは益虫(役に立
むし
つ虫)となります。

トウキョウダルマガエル



かんとうちほう おも せいそくち
関東地方を主な生息地とする、
きんねん
トウキョウダルマガエル。近年
かず へ ぜつめつきぐしゆ
は数が減ってしまい絶滅危惧種
してい
に指定されてしまいました。
さいわ せいたいえん
幸いにも生態園にはトウキョウ
せいそく
ダルマガエルが生息していま
す。

テングチョウ



かお さき てんぐ とが
顔の先が天狗のように尖ってい
なかま
るタテハチョウの仲間です。
せいちゆう ふゆ こ こたい あたた
成虫で冬を越した個体が、暖
じ き すがた あらわ
かくなったこの時期に姿を現
します。